

かや たかゆきの ほづれんそつ

愛川町議会議員

第19号

議会の報告

後援会の連絡

皆さんからの相談

耐震化して安心に暮らせるまちづくり！

8月に神奈川県西部を震源地とした大きな地震があり、愛川町でも大きく揺れました。町民皆さんの生命と財産、安心を守る為には建物の耐震化を進めて行く必要があります。しかし耐震リフォームは費用がかかるので町が補助を行えるよう一般質問を行いました。

新耐震や2000年耐震にしよう！

1981年6月（築43年）以前に建てられた住宅は旧耐震制度となり、地震に弱い構造となっています。旧耐震は震度5に耐えられる程度となり、新耐震制度は震度6～7でも崩壊しないような制度です。更に2000年耐震では、震度6～7が何回か来ても耐えられる耐震制度となっています。

旧耐震の住宅から新耐震への耐震リフォームや、新耐震から2000年耐震への耐震リフォーム補助金など、町独自の耐震リフォーム補助金を作るよう要望をしました。



耐震シェルターの準備を！

耐震シェルターとは「**一部屋耐震**」とも言われ、リビングや寝室など、**一部屋だけを耐震する事を言います**。家全体を耐震リフォームすると多くの費用と時間がかかります。一方で、一部屋耐震は、少ない費用と時間で済みます。

災害時には耐震化された部屋に家族で避難が出来るので、安心して暮らすことが出来ます。

その為にも町独自の**一部屋耐震に対する補助金の新設**を要望しました。



子ども食堂 開催のお手伝い！

私の友人が、子ども達の笑顔のために「子ども食堂」を開催したい！と相談がありました。

そこで、食材の提供や様々な経験を持つ「フードパントリーぶどうの木」さんを紹介しました。場所の提供など、多くの方に協力して頂き、沢山の子ども達が集まった子ども食堂が開催されました。

竹で作った「流しそうめん」では、子ども達は大喜びでした。貴重な経験になったと思います。



避難所運営訓練に参加しました！

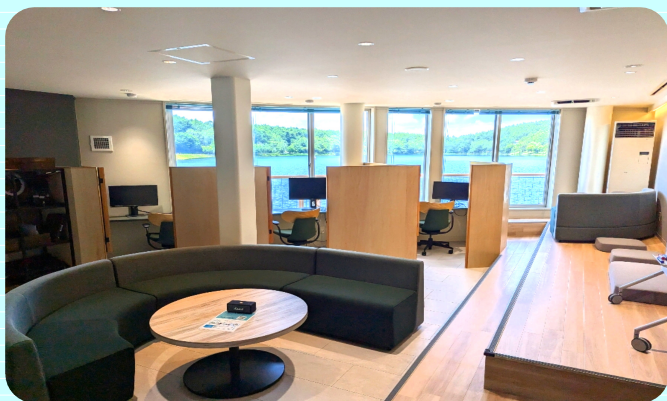
中原中学校で行われた避難所運営訓練では、町民代表として、**マンホールトイレの組み立ての指導を行いました**。参加された皆さんは5分程度で上手に組み立てました。

そしてJ:COMさんやエフエムさがみさんのインタビューでは、**マンホールトイレは避難でいち早く準備しなくてはならない重要な事**と伝えさせて頂きました。



友好姉妹都市への視察

愛川町と友好姉妹都市の長野県立科町の「えんでこまつり」に招待されました。立科町議会議員の方々と様々な交流をし、立科町が取り組む事業を視察しました。女神湖に隣接している不使用な施設をコワーキングスペースにして、素晴らしい景色の中で仕事ができる環境を作り、**移住者の獲得**に結び付ける事業や立科町の高低差を利用した**小水力電力発電事業**を視察しました。



親子食堂の開催

不登校・ひきこもり親の会「はねやすみ」さんが主催した親子食堂に参加して、一緒にご飯を食べました。私生活等に不安を抱える親子が他の親子達とおしゃべりや情報交換をして親睦が深められた事業でした。



9月議会で「愛のあるまちづくり」を提案しました！

令和6年9月議会では、令和5年度の決算について会派を代表して質疑を行いました。そして、教育民生常任委員会では教育委員会と民生部所管に対して意見と要望を行いました。

不妊治療・不育治療の助成拡大

子どもは未来の宝物です。先進医療や自費診療の助成拡大。そして、不育治療の助成拡大を要望しました。



トレーナーの配置基準・シニア割

毎週水曜日の日中に常駐するトレーナーを平日夜や週末などに変えて、若者にも利用しやすい環境整備やシニア割を要望しました。



子育て応援リフレッシュ事業

ベビーシッターを利用して、お母さんや家族、夫婦の大切な時間を作る事業なので制度の拡大を要望しました。



新婚生活支援事業の拡大

若者が愛川町で結婚しやすい環境を作ることが、生産年齢人口を増やす事に繋がるので事業の拡大を要望しました。



愛川町の文化「海底和紙の継承」

海底和紙は町の貴重な文化です。愛川地区の小学校で行われている卒業証書を海底和紙で作る事業を中津地区の小学校でも行えるように要望しました。



いじめや不登校をなくす環境づくり

いじめを早期発見し、対応できる環境づくりと不登校児童生徒に寄り添える環境づくりを要望しました。



黒岩神奈川県知事に要望書の提出！

「大山丹沢山系鳥獣等問題市町村議員連絡協議会」の事務局長として県知事に要望書の提出をしました。愛川町でも熊の出没が多発しています。県職員さんとも意見交換を行い、早期対応をお願いしました。



提供：神奈川県



日本生命さんとの包括連携協定

日本生命保険相互会社様（愛川町エリア担当）から愛川町と包括連携協定を結びたいと要望があり、愛川町と日本生命さんの懸け橋役をさせて頂きました。健康増進や子育て支援で包括連携します。



編集後記

19号から内容を変えて、議員活動から政治活動まで様々な活動を掲載して内容をボリュームアップしてみました。今までは発行時期を議会中に行っていましたが、今からは議会の内容まで盛り込めるように発行時期をずらしました。これからは4月（12月議会・3月議会）10月（6月議会・9月議会）に中身の濃い広報誌として発行しますので、お楽しみにしてください。